

令和5年度 重点目標達成のためのアクションプラン

氷見市立南部中学校

<本年度の重点目標>

学ぶこと・学び合うことの楽しさを実感できる教育活動の実践

前年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学習面では、生徒の学習意欲を更に高め、望ましい学習習慣が身に付くように、具体的に働きかける手立てを工夫していく必要がある。 ・仲間づくりという点では、学校内外において自分からさわやかな挨拶ができるような働きかけを、更に工夫する必要がある。また、相手を思いやる言動についても時機逃さず指導する方法を工夫していく必要がある。 	
具体的な達成目標 (数値目標)	<p>A P 1</p> <p>自分の考えをもち、楽しく学び合う生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①授業で、自分の考えをもち、相手に伝えることができたとして自己評価する生徒が85%以上 ②授業での学び合いを通して、自分の考えを深めることができたとして自己評価する生徒が80%以上 	<p>A P 2</p> <p>互いに認め、学び合い、高め合う集団を目指して、自ら行動する生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①相手の立場を尊重した行動や言葉がけに努めたとして自己評価する生徒が90%以上 ②学校生活の様々な場面で、自分のできることを考えながら、率先して行動できたと自己評価する生徒が85%以上
行動 I (方策)	<p><方策①></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に対して、生徒が自分の考えをもつ場を設定する。 ・授業で、話したり書いたり I C Tを活用したりすることを通して、自分の思いや考えを伝える場を設定する。 ・グループや全体等、生徒が考えを伝える学習形態を工夫する。 <p><方策②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が様々な意見を聞き、多角的・多面的に考えを深めることができるような場を設定する。 ・友達の考えを聞き、自分の考えとの違いや新たな気づきから、学ぶことの楽しさを実感できる場の設定をする。 	<p><方策①></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が、学校・家庭・地域で自分から挨拶できるように働きかける。 ・互いの理解を深められるよう働きかけるとともに、自分の言動を振り返る場を設定する。 <p><方策②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の様々な場面で、生徒が自分にできることを考え、積極的に取り組むように働きかける。